



釜山国際観光展および日韓交流おまつりへの クリアブース出展レポート

(一財)自治体国際化協会ソウル事務所ブース出展チーム 所長補佐 原田 典久／森本 哲夫／竹中 梯子

2015年9月11日から9月14日まで、韓国・釜山で、海外40か国以上が参加する大規模な国際博覧会「釜山国際観光展」が開催されました。また、2015年9月19と20日の二日間、ソウルで、日韓最大の草の根交流「日韓交流おまつり 2015 in Seoul」が開催されました。

クリア・ソウル事務所では、両イベントにブースを出展し、日本の地域の魅力をPRしてきました。その出展の様子をご紹介します。

第18回釜山国際観光展

今回で18回目となる釜山国際観光展は、韓国内含め、アジア、ヨーロッパ、アフリカなど海外44か国からブースが出展され、4日間の来場者数は延べ約10万3,000人でした。

日本からは17の地域や企業がブースを出展しました。各ブースがそれぞれパンフレットなどを配布しながら日本の魅力をPRするとともに、長崎ブースでは日本酒の試飲やカステラの試食、下関・山口ブースではゲームなどを実施し、多くの来場者の関心を集めていました。



ソウル事務所ブースの様子



アンケートの様子

クリア・ソウル事務所のブース（以下、「クリアブース」という。）では、日本各地の観光パンフレットを配布し、地域の魅力のPRを行いました。クリアブースを訪れた方々の日本への関心は学生から大人まで世代を問わずとても高く、すべての地域のパンフレットを持ち帰る方もいました。特に、温泉のある地域の人気が高く、大分など温泉地のパンフレットが欲しいという方が多くいました。

また、日本国内で行ったことのある、もしくは行ってみたい都道府県についてのアンケートを実施しました。東京・大阪はもちろん、釜山という土地柄のためか、長崎県の対馬に行ったことのある方が多い結果となりました。

このような観光展は、四国地方など韓国でまだあまり知られていない日本の地域についても広報する良い機会でもあり、クリア・ソウル事務所では、引き続き日本全国のさまざまな地域の魅力あふれる点を今後ともPRしていきます。

日韓交流おまつり 2015 in Seoul

2005年日韓国交正常化40周年を記念した「日韓友情年」に始まった「日韓交流おまつり」は、日韓最大の

民間交流行事であり両国の友好関係の増進を目的に開催されています。

当イベントは、両国の伝統芸能の演出、伝統遊びや衣装の着付け体験など、両国の文化交流を図る場であるとともに、各地域の紹介や特産品のPRを行います。以下、クレアブースで行った日本各地のPRの様子です。

・観光パンフレットや広報映像を活用したPR

クレアブースでは、毎年、自治体から提供いただいたパンフレットやポスターを活用して、来場者に観光地のPRを行っています。日本は韓国から距離的に近い上、最近の円安傾向により、韓国からの旅行先として非常に人気があります。そのため、東京、京都、大阪、福岡といった韓国でもよく知られている地域のみならず、日本全国各地の観光パンフレットを求めて多くの来場者がブースを訪れます。

また、今回のおまつりでは、自治体から提供いただいた観光PR動画をもとに、韓国のマスメディア「チャンネルW」とクレア・ソウル事務所がタイアップして作成した映像を上映したことで、来場者が「見て楽しめる」ブースとなりました。



クレアブースの様子

・韓国人の観光ニーズを調査

クレアブースでは、2013年から、韓国人の訪日旅行におけるニーズを把握することを目的として、来場者を対象としたアンケート調査を実施しています。アンケートでは、行ってみたい日本の地域や、日本で体験してみたいこと、旅行情報の収集手段、宿泊施設の選定基準、旅行の手配方法など、自治体の観光施策の企画や観光商品開発に役立つ項目を調査しています。

調査結果はクレア・ソウル事務所のHP (<http://www.clair.or.kr/>) で公表していますので、是非ご覧ください。

・「ご当地キャラクター」とSNSを活用した自治体PR

今回、自治体PRのための初めての試みとして、自治体のご当地キャラクター計68体をずらりと並べて印刷した横断幕をブース内に掲示し、来場者が気に入ったキャラクターと写真を撮影できる「認証ショット(인증샷: インジュンシャット)」イベントを実施しました。

認証ショットは、韓国の若者の間で流行している文化で、自分が行った場所や参加した行事で撮影した写真をSNSサイトやブログに「証拠」としてアップロードし、友人などに見てもらうものです。スマートフォンを使用する人が多い韓国では、SNSを活用したPR手法が非常に効果的です。実際に民間企業でも、自社製品の広告などのため、認証ショットにより景品がもらえるキャンペーンを実施しているところもあります。

今回のイベントでも、クレアブースを訪れた証拠としてご当地キャラクターとの写真をSNSサイト「Instagram(インスタグラム)」にアップロードしていただいた来場者の方に、自治体のノベルティグッズをプレゼントしました。

かわいいキャラクターを好む若い女性や家族連れの来場者に特に人気があり、何枚も写真を撮っていく方が大勢いました。写真撮影の際は、キャラクターの出身自治体の特産品や観光名所なども併せて説明しており、地域の知名度向上に繋げる工夫をしました。



認証ショットイベントの様子

・JETAA がブースを初出展

JET プログラムの PR のため、JETAA 大韓民国支部が初めて単独でブースを出展しました。これまでも、クリアブースの一角に JETAA インフォメーションデスクを設けて JET プログラムの広報を行っていましたが、今年は単独でブースを設けたことにより、興味を持って足を止めてくれる来場者がこれまで以上に増えました。

ブースでは、現役韓国人 JET 参加者と JETAA 会員の協力の下、JET 参加者が実際に日本で国際交流業務を行っている様子を収めた多くの写真をパネルにして展示しました。また、ブース出展のために新たに作成したノベルティ（JET ロゴの入った付箋）を併せて配布し、積極的に PR を行いました。

日韓交流おまつりの来場者は 10～20 代の若者が大部分を占めており、また、韓国の高中生や大学生がボランティアの運営スタッフとして多数参加します。ボランティアの中には学校で日本語や日本文化を学んでいる方も多いため、日本との国際交流業務に興味を持つ若い世代の方に対して JET 経験者の生の体験談を伝えることで、効果的に PR する絶好の機会となりました。



JETAA ブースの様子

・日韓国交正常化 50 周年を機に、ご当地グルメを招聘

今回、日本のそれぞれの故郷に根差した「ご当地グルメ」を日本文化の一つとして紹介すべく、B-1 グランプリを主催する愛 B リーグの協力の下、愛知県豊川市の「豊川いなり寿司で豊川市をもりあげ隊」と大分県佐伯市の「佐伯ごまだしうどん大作戦」の 2 団

体を招聘しました。

今年から、会場である COEX で調理が可能になったため、ご当地グルメのほか、さまざまな団体が食事の提供を行いました。韓国で普段食するそれとは一味違ういなり寿司やうどんに終日行列が絶えず、日本の食文化の一つである「ご当地グルメ」を知ってもらう良い機会となりました。

・日本の多くの自治体もブース出展

今年の来場者数が過去最大の 6 万人に達した中、日本の自治体からのブース出展は過去最多の 18 団体（注）となりました。

運営スタッフやボランティアのみならず、日本に興味がある来場者に日本各地の魅力を伝える絶好の機会であり、毎年開催されるこのイベントに、自治体からブースを出展し、地域の魅力を PR してみたいかでしょうか？

開場前から入場を待つ人も多くみられ、日韓交流おまつりが広く認知され、期待されているイベントであることを強く感じました。

クリア・ソウル事務所が出展に関するサポートを行っていますので、是非ご相談ください。

（注）参加自治体

1	青森県	10	熊本県
2	宮城県	11	宮崎県
3	福島県	12	佐賀県
4	横浜市	13	長崎県
5	山梨県	14	対馬市
6	静岡県	15	沖縄県
7	白浜町	16	JNTO
8	鳥取県	17	CLAIR
9	香川県	18	JETAA